



株主のみなさまへ

第70期 報告書

2019年7月1日～2020年6月30日



TAKAMISAWA
株式会社 高見澤

証券コード：5283



代表取締役社長
高見澤 秀茂

株主のみなさまには平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの令和2年7月豪雨により被害にあわれたみなさま、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられたみなさまには、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興・回復をお祈り申し上げます。

ここに当社グループ第70期報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当期において当社グループを取り巻く経済環境は、企業収益や雇用所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。本年に入り新型コロナウイルス感染症拡大に伴い混迷が深まり先行き不透明な状況でありました。

また、本年4月の同一労働同一賃金法の施行で、経営環境は昨年にも増して柔軟な対応を迫られています。

このような情勢のもと、当社グループは、積極的な営業活動と徹底的なコスト管理により収益の拡大に努

～経営理念～

顧客・社員・株主・地域社会に必要とされ、
信頼され、貢献でき、存在感のある
良い会社（グッドカンパニー）を目指す。

めてまいりました。

この結果、グループ全体では売上高は減収となったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期を上回り、増益となりました。

今後、当社グループを取り巻く経営環境は、販売競争の激化や公共工事の受注競争、民間需要の低迷などが想定される一方で、災害復旧工事の受注も見込まれます。

こうした中、コンプライアンス経営に重点を置き、安定収益を確保できる経営基盤の確立に全社一丸となって取り組んでまいり所存でございます。

なお、期末配当金につきましては、1株につき25円とさせていただきますのでご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月

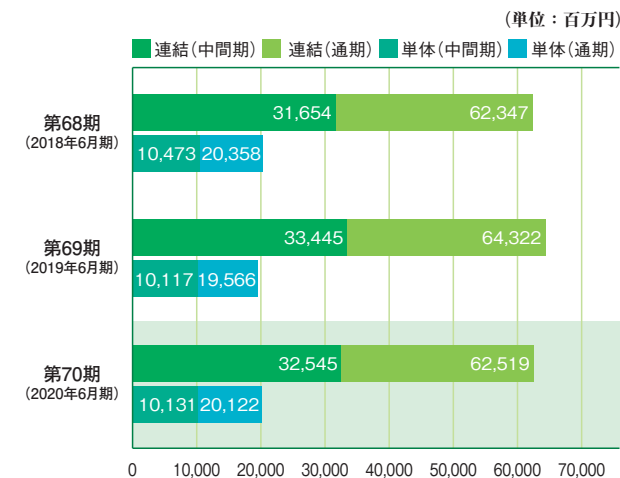
Point

- ・建設関連事業は、公共工事において、災害復旧工事へのオリジナル製品等の納入が順調に推移し増収
- ・電設資材事業は、設備投資案件が減少する中、積極的な営業活動により前期並みの売上を確保
- ・カーライフ関連事業は、台風、暖冬、新型コロナウイルスの影響により需要が減少し減収
- ・住宅・生活関連事業は、台風による農産物の生産量の低下と建売分譲物件の取扱いが減少し減収

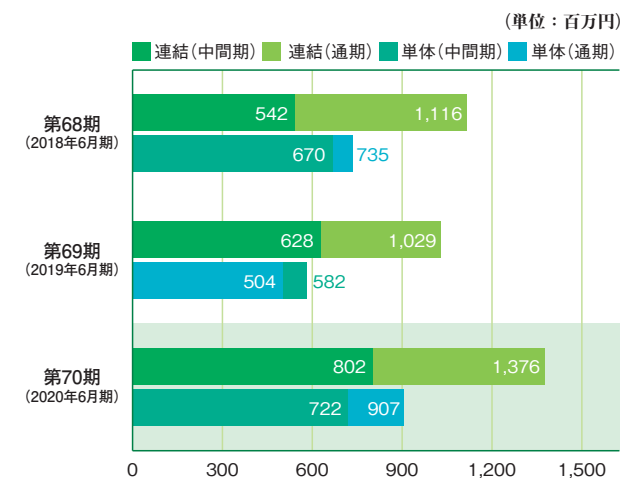
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境の改善等を背景に、前半は緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦問題の長期化や欧州経済の減速に加え、年明け以降、新型コロナウイルスの感染拡大により一気に混迷が深まり、先行きの不透明感が一層増しております。

このような経営環境の中にあって、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高62,519百万円（前連結会計年度比2.8%減）、営業利益1,077百万円（前連結会計年度比7.8%増）、経常利益1,376百万円（前連結会計年度比33.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益814百万円（前連結会計年度比30.4%増）となりました。

売上高の推移



経常利益の推移

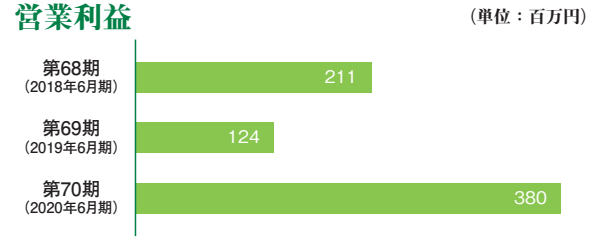
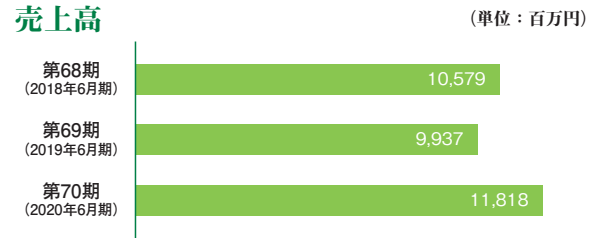


建設関連事業



民間大型工事への建設資材販売が好調であったことに加え、公共工事においても防災減災関連工事ならびに台風災害復旧工事へのオリジナル製品等の納入が順調に推移し、増収増益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は11,818百万円（前連結会計年度比18.9%増）、営業利益は380百万円（前連結会計年度比204.8%増）となりました。



電設資材事業



設備投資案件が減少している状況下において積極的な営業活動を行い、前連結会計年度並みの売上を確保しました。また、仕入れコストの削減に取り組み、増益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は29,046百万円（前連結会計年度比1.3%減）、営業利益は535百万円（前連結会計年度比12.5%増）となりました。

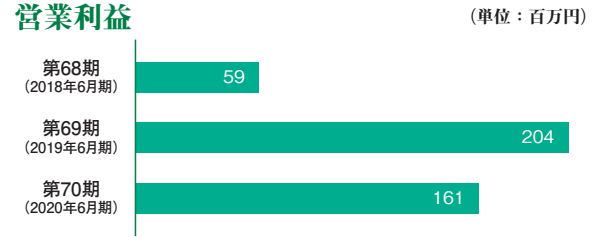
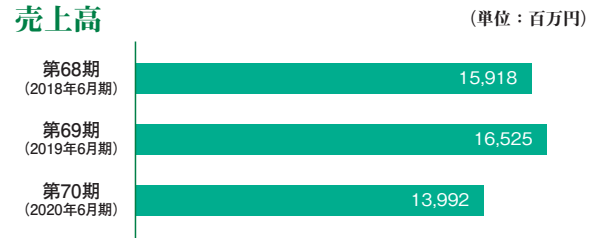


カーライフ関連事業



石油部門では、暖冬及び新型コロナウイルスの感染拡大により燃料需要が減少する一方で販促費等経費が膨らみ、減収減益となりました。オート部門では、台風19号の影響により車検整備工場が被災し営業休止状態となったことに加え、新型コロナウイルスの影響によるユーザーの車両買い控えにより、減収減益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は13,992百万円（前連結会計年度比15.3%減）、営業利益は161百万円（前連結会計年度比21.1%減）となりました。

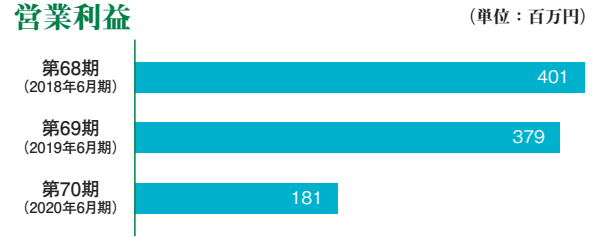


住宅・生活関連事業

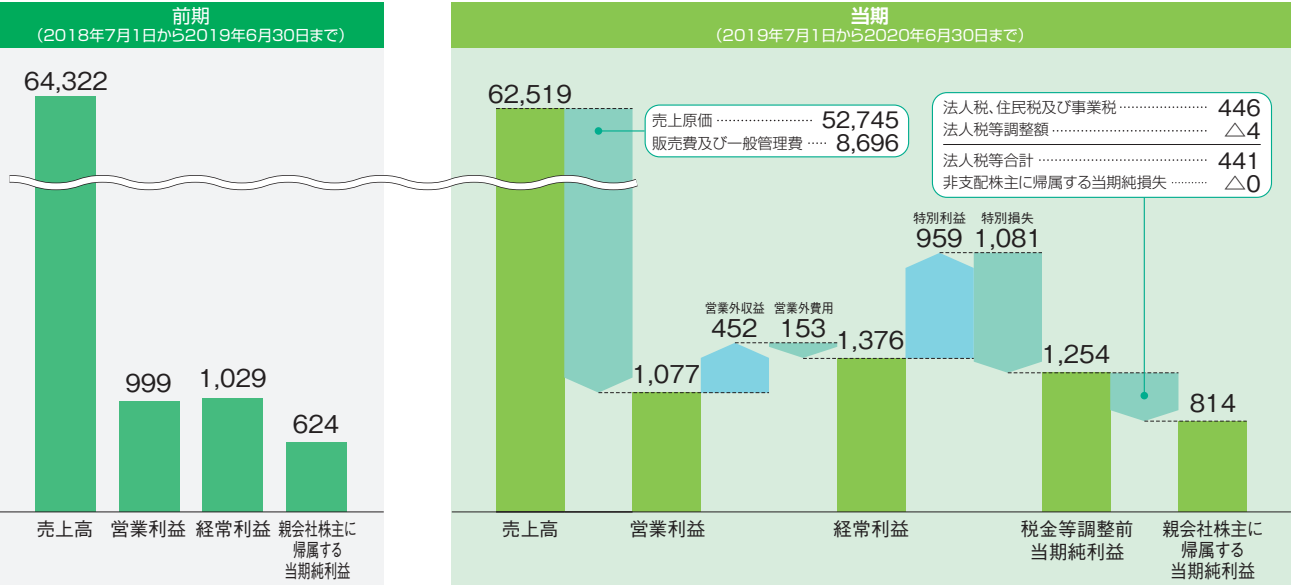


主な事業として、農産物部門では、台風19号の影響により、きのか培地の工場が一部稼働できなかったことによる生産不足と、天候不順による青果物の取扱量が減少し、減収減益となりました。不動産部門では、建売分譲物件の取扱いが減少し、減収減益となりました。

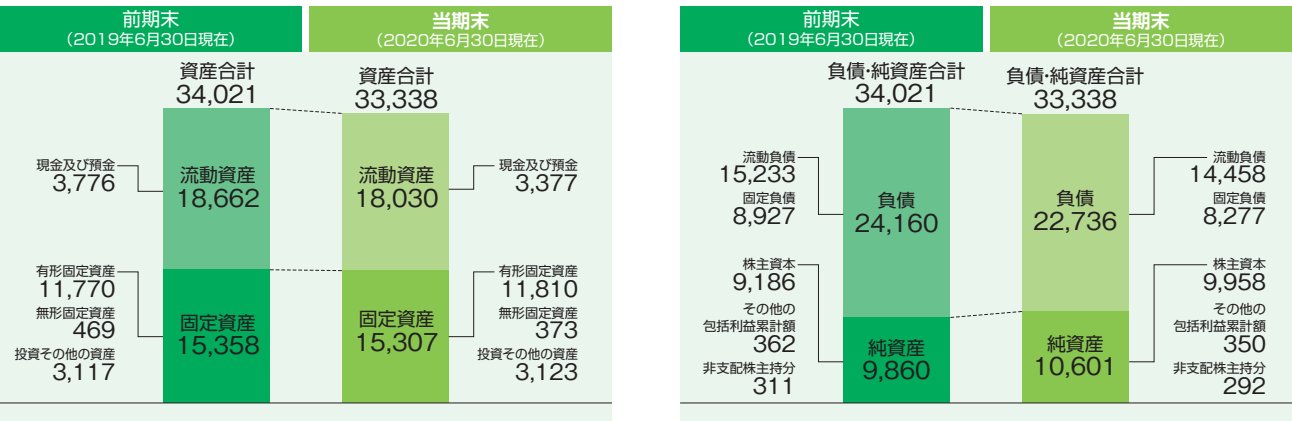
この結果、住宅・生活関連事業の売上高は7,660百万円（前連結会計年度比9.3%減）、営業利益は181百万円（前連結会計年度比52.1%減）となりました。



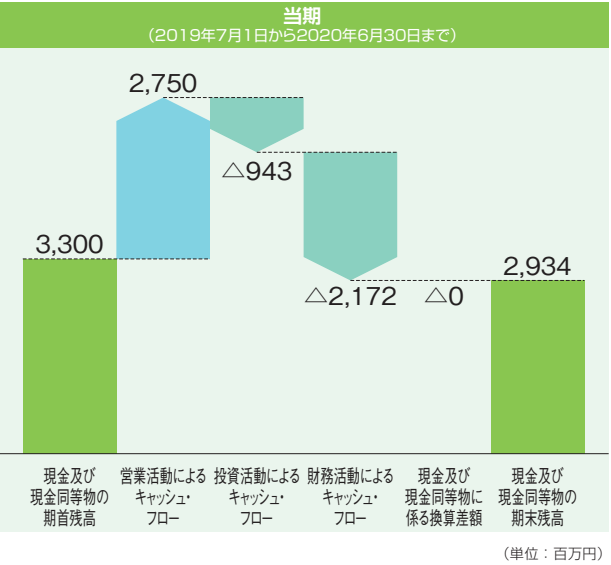
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



科 目	前 期 (2018年7月1日から 2019年6月30日まで)	当 期 (2019年7月1日から 2020年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,101	2,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,209	△ 943
財務活動によるキャッシュ・フロー	200	△ 2,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	0
現金及び現金同等物の増減額	90	△ 366
現金及び現金同等物の期首残高	3,209	3,300
現金及び現金同等物の期末残高	3,300	2,934

Point 受取保険金及び災害による損失

2019年10月に発生しました台風19号により、当社において被害が発生し、その災害による損失額1,072百万円を計上しております。

また、災害発生に伴う損害保険金を「受取保険金」として950百万円を計上しております。



株主優待のお知らせ

当社は株主さまご優待として、特産事業部で製造販売している「なめ茸「志賀の郷」」をお送りしております。日本一の産地として有名な長野県中野市の採りたての新鮮なえのき茸を、信州産丸大豆を使った杉桶天然醸造醤油でじっくりと煮込んだ贅沢ななめ茸です。ぎっしり詰まったえのき茸の歯ごたえと、6種類の味をご賞味していただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。



対 象 株 主	贈 呈 内 容
2020年6月30日現在 200株以上ご所有の株主さま	1名様につき なめ茸「志賀の郷6本セット」を贈呈

お問合せ先
株式会社 高見澤 総務部
Tel (026)228-0111 Fax (026)227-8046

台風19号災害からの復興

◆ 特産事業部 ◆ 建設事業部資材運送部 ◆ 生コン事業部 ◆ オート事業部
◆ 石油事業部 ◆ コンクリート事業部 ◆ AGC（アップルラインゴルフセンター）

◆ 5ヶ所は長野市豊野地区で被害大（浸水3m） ◆ 他の2ヶ所は中野市で床上浸水

台風19号災害被災事業所

◆ 特産事業部

特産事業部 農業資材課はコンクリート事業部豊田工場敷地内で、キノコ培地を製造していましたが、台風19号により製造設備であるプラントが5基浸水被害にあいました。2日後より、人力による生産を開始しましたが、3月には現状復帰し通常稼働に戻りました。



◆ 生コン事業部

生コン事業部は、長野市豊野町に事務所を構えており、台風19号により事務所及び骨材の製造設備が浸水により被害にあいました。

骨材の製造はできませんでしたが、出荷は在庫品や外注により翌日より可能となりました。

事務所、製造プラント共に3月には改修工事が完了し復旧いたしました。



災害時



復旧後

◆ 建設事業部資材運送部

建設事業部資材運送部は、長野市赤沼に事業所を構えており、台風19号により事務所及びトラック数十台が浸水被害にあいました。輸送手段であるトラックは、被災直後からレンタルや中古車等の代替車両により対応してまいりました。事務所は10月に現状復帰の予定です。



クレーン車5台代替取得

◆ オート事業部

2019年10月の災害によって、事務所、10基の大小リフト及び商品車両等が水没してしまいました。その後12月に仮設事務所を設置し、門型リフトを修理することで、発電機を使って一般整備、タイヤ交換等の一部業務を再開しました。

翌年3月には小型車両用リフト4基と検査ラインを一新し、認証工場として持込車検を行えるようになりました。

6月には大型リフト4基と小型リフト2基を追加し計10基のリフトが新しくなりました。6月中旬には指定工場の許可もあり、ホリデー車検も含めビットインジャンボは完全復旧いたしました。セールスルームにはお客様連れのお客様にも安心してお待ちいただけるようキッズスペースを設け、トイレには乳幼児用のおむつ交換台も完備いたしました。

これからもたくさんみなさまに支えられ、復旧できた感謝を忘れずにお客様に満足していただけるよう今後の業務に励んでまいります。



◆ 石油事業部

カーケアステーション豊野SSIは台風19号により被災しましたが、約1ヶ月後の11月15日にタイヤ交換作業、ドライブスルー洗車機のみ業務を再開することができ、その半月後の12月1日に被災からの復興リニューアルオープンをすることができました。石油事業部社員一丸となって復旧に取り組み、計画より早く再開できました。

被災地の住民のみならずまでも温かいご支援を賜り感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ地元住民のみならずまでも困難な状況の中ですが少しでもみなさまのお役に立てるように取り組んでまいります。

またカーケアステーション豊野SSIには、災害時にも燃料供給できるように自家発電機を設置し、経済産業省資源エネルギー庁より住民拠点SSとして指定を受けております。

これからもエネルギーの安定供給の為に地元企業として地域に根ざしたサービス拠点として貢献できるよう努めてまいります。



◆ コンクリート事業部

豊田工場は、中野市の北西部（旧豊田村）に位置し千曲川東側に隣接しております。

主に間知ブロック、インターロッキング（舗装に使われるブロック）等の製造をしており、県内外の道路、歩道、公園、商業施設、個人住宅等へ幅広く供給している工場です。

台風19号の影響で事務機器、在庫品、工場機械設備が水没し、大きな被害となりました。

復旧作業の後、工場は約3ヶ月を経て1月中旬より修理した機械設備は再稼働の運びとなりました。また、6月下旬には新たな機械設備を導入しました。これにより大型製品の製造が可能となり生産量も上がるよう設備を整えました。

現在は、台風19号で被災した長野県下の復旧工事の受注を相当数いただいており、県内の復旧と復興に向け人員も増員してフル生産で稼働しております。今後も自工場の被災経験を糧に、強靱化と防災そしてインフラ整備の役割を果たしていきたいと考えております。



復旧後の製品置き場
間知ブロック在庫



ブロック出荷
積み込み



新しい機械設備での製造

◆ AGC（アップルラインゴルフセンター）

台風19号による浸水被害により休業しておりましたアップルラインゴルフセンターですが、多くの方々のご支援、ご協力により被災から約5ヶ月後の3月20日にリニューアルオープンしました。

浸水被害にあった1階のICカード式席席システム機器は最新のものに更新し、タッチ式モニター画面も見やすく、より操作しやすいものになりました。併せてクラブハウス内のチャージ式入金機も投げ込み式のタイプになり、ストレスの少ない仕様になりました。

また泥が堆積してしまったドライビングレンジはすべて既存のシートを撤去し、下地の修繕・復旧工事を行いました。手前50ヤードの天然芝は人工芝に張替え、よりショートゲームの練習のしやすい実践的な環境をご用意しました。ドライビングレンジ隣のアプローチ練習場も既存のバンカーを改修し、より多くのお客様に満足していただける練習環境を整えております。

クラブハウスに併設しておりますゴルフパートナーアップルライン店も売場整備を行い、ゴルフ用品を購入しやすい環境を整えました。クラブを実際に打って試せる環境を活かし、引き続きお客様のゴルフライフを全力でサポートさせていただきます。

台風被害からの復旧とは直接関係ありませんが、ドライビングレンジ・駐車場を照らす投光器をLED投光器に更新し、練習中の打球の行方を鮮明にし、場内の安全も確保しました。また練習場を囲む支柱の塗装を行い、長期間雨風に耐えうる強度を確保し、外観の向上にも努めております。

アップルラインゴルフセンターは練習場としてお客様の技術アップに貢献するだけでなく、ゴルフの楽しさを伝え、健康維持・管理のお手伝いをさせていただき、地域のみなさまにお気軽にご利用いただけるような練習場を目指していきたいと考えております。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



会社概要

会社概要 (2020年6月30日現在)

商号	株式会社高見澤
設立	1951年3月29日
資本金	1,264,300,000円
従業員数	375名
事業部、営業所等	37拠点

役員 (2020年9月29日現在)

代表取締役社長	高見澤 秀 茂	常務取締役	久 保 輝 明	常勤監査役	大 井 文 成
専務取締役	赤 沼 好 宏	取締役	小 林 茂 勝	社外監査役	錦 澤 裕
専務取締役	高見澤 雅 人	取締役	千 野 巳 明	社外監査役	金 子 肇
常務取締役	佐 藤 倫 正	取締役	高見澤 尊 昭		
常務取締役	原 山 稔 明	取締役	小 林 正 樹		
常務取締役	米 山 剛	社外取締役	松 本 清		

グループ会社 (2020年6月30日現在)

社 名	資本金
昭和電機産業株式会社	750百万円
直江津臨港生コン株式会社	50百万円
オギワラ精機株式会社	10百万円
株式会社アクリトライ	44百万円
信州電機産業株式会社	40百万円
株式会社ナガトク	10百万円
株式会社セイブ	10百万円
株式会社スマイルハウス	20百万円
上燃株式会社	10百万円
溜博高見澤混凝土有限公司	3,200万元

ホームページのご案内

<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

当社グループのさまざまな情報は
こちらでもご覧いただけます。



株式の状況 (2020年 6 月30日 現在)

株式の状況

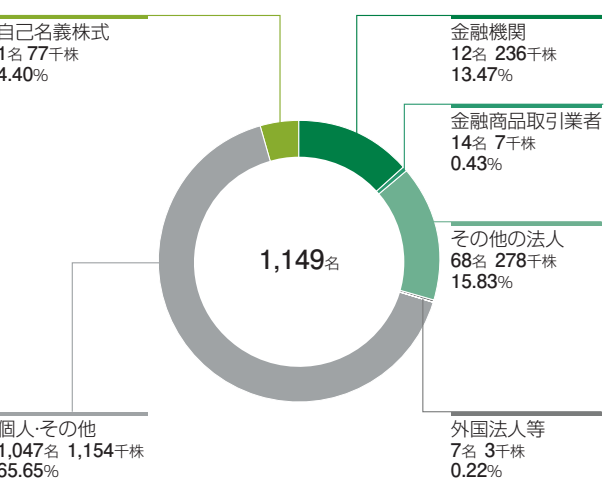
発行可能株式総数…………… 3,783,000株
発行済株式の総数…………… 1,758,400株
1 単元の株式数…………… 100株
株 主 数…………… 1,149名 (前期末比10名増)

大 株 主 (上 位 10 名)

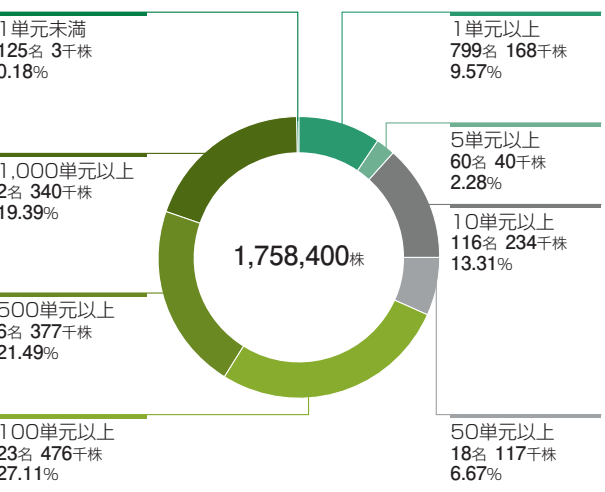
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
高見澤秀茂	205	12.25
高見澤尊昭	135	8.03
株式会社八十二銀行	83	4.95
株式会社夢葉	60	3.57
高見澤雅人	55	3.28
内藤 征吾	52	3.10
長野県信用組合	50	2.97
高見澤吉晴	42	2.50
高見澤 洋	35	2.09
高見澤豊子	29	1.77

(注) 1. 当社は自己株式77,470株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日
	そのほか必要ある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・郵送先	(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-7111 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告いたします。 公告掲載の当社のホームページアドレス https://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。